エコアクション21
認証番号 0007718

北陸自動車株式会社

2024年度　環境経営レポート　対象期間　2024年7月～2025年6月

作成日　2025年7月31日

目　次

項　目	ページ
ごあいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組み結果とその評価	6
環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
外部からの環境上の苦情・要望等	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	11

□ごあいさつ

人とクルマ、自然が調和する環境作りを目指して地域と共存し、地域とともに前進する企業。これが弊社の創立以来の願いです。
そのため、かねてより廃棄物の適正な処理、清掃活動などを通じて社内外の美化、環境整備・保全活動に努めてまいりました。そしてこの取り組みをさらに前進させるため、エコアクション21環境経営システムを導入しています。
環境問題に今、取り組まなければ人類に未来はありません。
もちろん企業として存続することすら出来ません。私たちの活動が地域・社会へと広がり、ひいては地球全体の環境につながっていくことを願い、私たちの一人ひとりが毎日の仕事の中で出来る事から取組みを始めています。
「地域に必要とされ、愛される企業」でありたいと願っています。

環境経営方針

＜環境経営理念＞

低排出ガス・低燃費車両の販売並びに車両整備を通じて社会に貢献するとともに、事業活動に伴う環境負荷の低減を継続的に改善することに努め、より良い環境作りを目指し、顧客、住民、利害関係者から信頼される事業者であり続ける。

＜環境保全への行動指針＞

１．　低排出ガス車両の販売促進

２．　定期点検車両の入庫促進

３．　エネルギー消費量の節減による二酸化炭素排出量の削減

４．　水消費量の節減

５．　廃棄物排出量の削減

６．　化学物質の適正管理

７．　緑化及び整理整頓の推進

８．　環境関連法規等要求事項の遵守

制定日：2011年4月1日
改訂日：2022年10月14日

代表取締役社長　猪又一義

□組織の概要

（1） 名称及び代表者名　　北陸自動車株式会社
代表取締役　猪又一義

（2） 所在地

本　　社　　新潟県糸魚川市寺島　3-1-8

（3） 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	専務取締役	小杉　充	TEL：025-552-1002
担当者	事務局	佐藤　宏	TEL：025-552-1002

（4） 事業内容

自動車の販売及び整備、損害保険代理店業、自動車のリース

（5） 事業の規模

売上高　　1,445　（百万円）

本　　社		
従業員	名	51名
延べ床面積	㎡	3,228

（6） 事業年度　　2024年7月～2025年6月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　北陸自動車株式会社
対象事業所：　本　　社
組織：　全組織
活動：　全活動

□事業の紹介

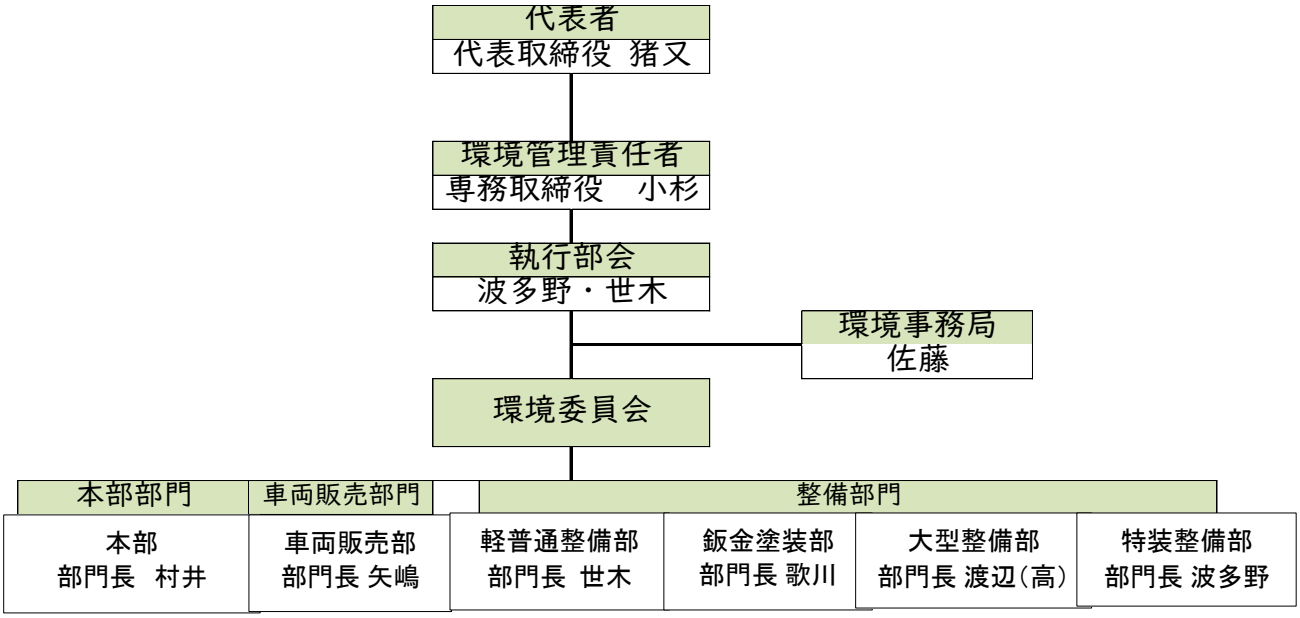
自動車の販売・点検・整備

タイヤで走るクルマのほとんどは自社で整備、点検、修理を行う会社です。

軽普通自動車、大型車、特装車両、鈑金塗装、自動車販売

ホンダカーズ糸魚川

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・一般教育訓練と事故及び緊急事態訓練計画書の策定 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認 ・執行部会及び事務局を任命
執行部会	・環境管理責任者の補佐 ・現地審査での改善事項、指摘事項等の対応策の立案 ・環境活動全体の監査 ・事務局の育成と指導
環境事務局	・環境委員会の開催 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の内部、外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・部門教育訓練計画書の策定 ・部門教育訓練の実施、記録の作成 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・業務上必要な資格取得に関する指導 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
1.二酸化炭素総排出量	Kg-CO2	137,290	140,072	149,326
2.廃棄物排出量	Kg	22,992	25,206	24,155
一般廃棄物排出量	Kg	4,240	4,600	4,520
産業廃棄物排出量	Kg	18,752	20,606	19,635
3.水使用量	㎥	―	―	―

※電力の二酸化炭素排出係数は0.378ｋｇ-CO_2/kwhを使用。
　毎月報告しているホンダ環境家計簿では、全国電力会社の平均である0.378を使用しているため。

□環境経営目標及びその実績

○一達成　×一未達成

項目 ＼ 年度		基準年度 2023年度 2023.7～2024.6 (基準年)	2024年度 2024.7～2025.6 目標	評価	実績	2025年度 2025.7～ 目標	2026年度 2026.7～ 目標
1.ハイブリット車の販売促進 ※2024年度から新車販売台数の35%を目標台数とする。	台	新車販売台数の35%	58.2	×	55	新車販売台数の35%	新車販売台数の35%
	基準				105.8 %		
2.販売車両の平均燃費向上	km/l	20.4	20.8	×	20.4	21.0	21.2
	基準	100%	102 %		98.1 %	103 %	104 %
3.定期点検車両の入庫促進	台数	1330	1335	○	1450	1,340	1,350
	基準	100 %	100.4 %		108.6 %	100.8 %	101.5 %
4.二酸化炭素排出量の削減	kg-C02	140,072			149,326		
原単位	排出量/粗利	409.0	407.0	○	299.7	404.9	402.9
＊毎年0.5%削減目標	(百万)						
	基準年度比	100 %	99.5 %		73.6 %	99.0 %	98.5 %
5.電気消費量の節減	kwh	144,817		○	153,171		
原単位	排出量/粗利	384.0	382.1		307.4	380.2	378.2
＊毎年0.5%削減目標	(百万)						
	基準年度比	100 %	99.5 %		80.5 %	99.0 %	98.5 %
6.化石燃料消費量の節減	L	35,148		○	37,769		
原単位	排出量/粗利	100.2	99.7		75.8	99.2	98.7
＊毎年0.5%削減目標	(百万)						
	基準年度比	100 %	99.5 %		76 %	99.0 %	98.5 %
7.廃棄物排出量の削減	kg	25,206		×	24,155		
原単位	排出量/粗利	47.8	47.6		48.5	47.3	47.1
＊毎年0.5%削減目標	(百万)						
	基準年度比	100 %	99.5 %		101.9 %	99.0 %	98.5 %
8.グリーン購入及び再生部品（リビルト）の使用促進	円	※リビルト品の使用は顧客のニーズに左右されるので、使用促進管理表にて各部門の使用件数と金額を管理する。					
	使用金額（円）	2022年 5,320,525	2023年 3,668,334		2024年 3,336,639		
9.緑化及び工場内の整理整頓	－	毎月第3火曜日に、全社一斉の環境活動の実施。					

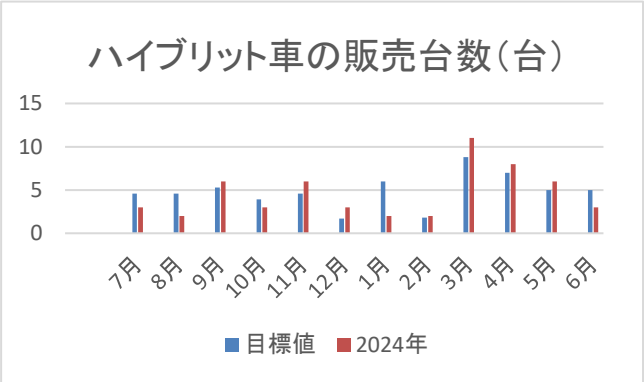
注）1.環境経営目標4～7は2023年度を基準年度とし、毎年0.5%の削減目標とする。
　2.増加目標の場合（1～3）は100%以上が目標達成となる。
　　削減目標の場合（4～7）は100%以下が目標達成となる。
　3.水消費量の節減は「監視・測定項目」とするため、環境目標から外す。
　4.化学物質使用量の節減は「監視・測定項目」とするため、環境目標から外す。

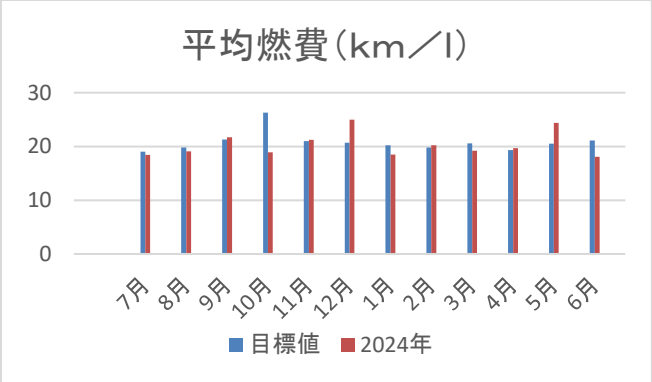
10.監視・測定項目	
○水消費量の適正管理	水量メーター故障で水の使用量が測定できない為、監視・測定項目とする。毎月「水の効率的利用及び節水」活動の評価をして管理を行っていく。
○化学物質の適正管理	仕事量によりPRTR制度対象の化学物質の量が変動する為、数値化しての目標設定が困難だが「化学物質使用量の抑制及び管理」で毎月評価をし管理を行っていく。

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標：○達成　×未達成
活動：○出来た　△あまり出来なかった　×出来なかった

1.ハイブリット車の販売促進	達成状況	取組み結果とその評価、次年度の取組み
数値目標	×	基本活動を中心に活動したがハイブリット車の販売は目標に対し89.3%、販売車両の平均燃費は98.1%と未達に終わった。ハイブリット車の販売比率を３０%から３５%へ変更したがハイブリット車の量販車種の納期の大幅遅れ、販売比率が軽自動車の増大などで目標達成できなかったと思われる。今まで以上に基本活動を徹底し活動する。
2.販売車両の平均燃費向上		
数値目標	×	
・商談時にＨＳＳの競合車種比較表から燃費・排出ガスを説明する。	○	
・車両のモデルチェンジ時に営業マンの勉強会を行うが、この時排ガス、燃費に関する項目も含める。	○	
・営業マンは月初、販売計画を立案する際、ハイブリット車の見込み客10件、ＨＯＴ客2件の設定をする。	○	
・販売車両の排出ガス、燃費を1ヵ月毎に集計して前年同月と対比して、進捗状況を確認、評価する。	○	





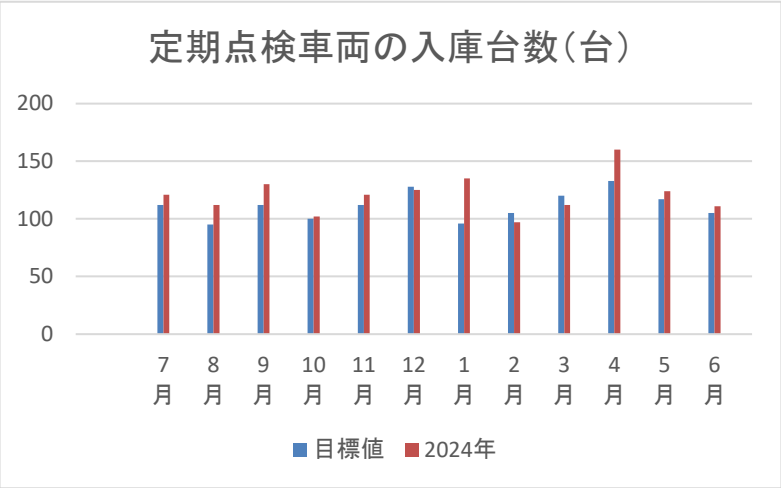
販売台数	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標値	4.6	4.6	5.3	3.9	4.6	1.7	6.0	1.8	8.8	7.0	5.0	5.0
2024年	3	2	6	3	6	3	2	2	11	8	6	3

※ハイブリッド車の販売促進は販売台数の30%を目標数値とする。

平均燃費	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標値	19.0	19.8	21.3	26.3	21.0	20.7	20.2	19.8	20.6	19.3	20.5	21.1
2024年	18.4	19.1	21.7	18.9	21.2	25.0	18.5	20.2	19.2	19.7	24.4	18.1

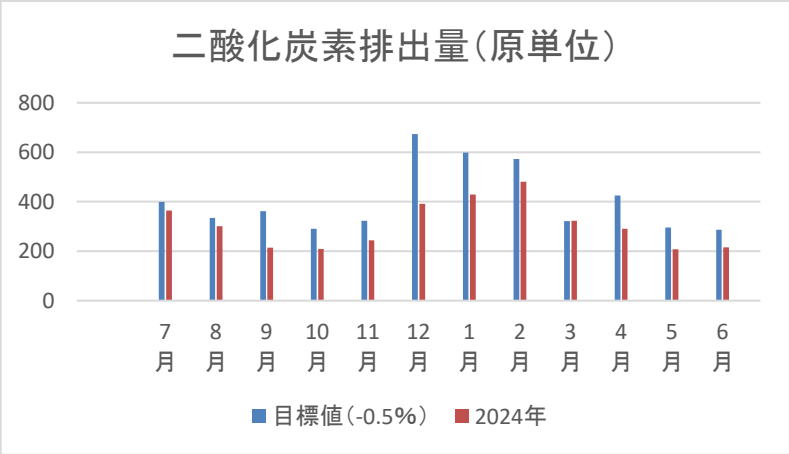
R070723　年度初め安全衛生委員会とエコ21環境委員会の様子

3.定期点検車両の入庫促進	達成状況	取組み結果とその評価、次年度の取組み
数値目標	○	取組み結果としては目標の1335台のところ、1450台で115台プラスになったが、点検勧誘の取りこぼしや、再度連絡促進が出来ていなかった部分が反省点で、12、2,3月は雪や車検繁忙期と重なり目標を少し下回った、次年度も毎月の目標クリアと再度入庫促進の強化を図り、引き続き継続して活動していく。
・翌月の定期点検リストを毎月作成し、点検案内はがきの作成とリストを掲示して管理をする。	○	
・上記割振りを行い、各自お客様に連絡をし、入庫促進する。	○	
・毎月15日までにお客様と連絡を取り、その結果を点検車両リストに記入する。	○	
・15日を経過した時点で未連絡者がいれば再度連絡する。	×	
・定期点検時に排ガス、黒煙基準値を超えているおそれのある車両は、チェックを行い基準値を超えていればお客様に連絡して整備を促す。	○	



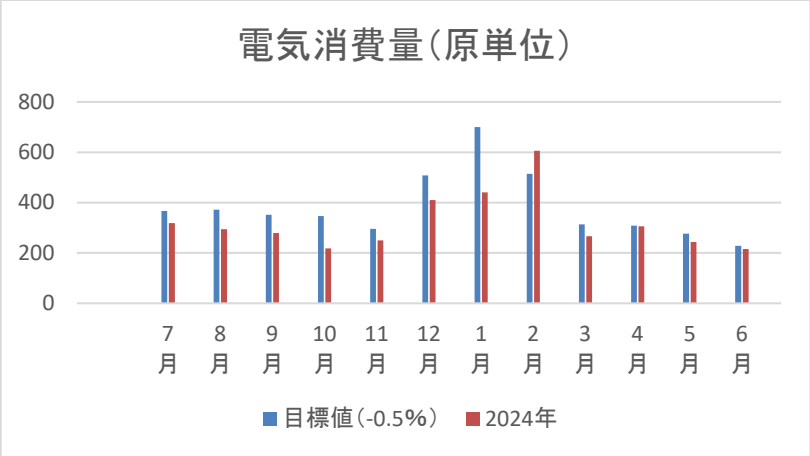
点検作業台数	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標値	112	95	112	100	112	128	96	105	120	133	117	105
2024年	121	112	130	102	121	125	135	97	112	160	124	111

4.二酸化炭素排出量の削減	達成状況	取組み結果とその評価、次年度の取組み
数値目標（原単位）	○	目標に対しての達成率は73.6%で達成。3月のみ未達成でその他の月は全て達成できた。原単位の粗利益も基準年度と比較して103.5%伸びている。
・電気消費量、化石燃料消費量の削減に取組む。	○	



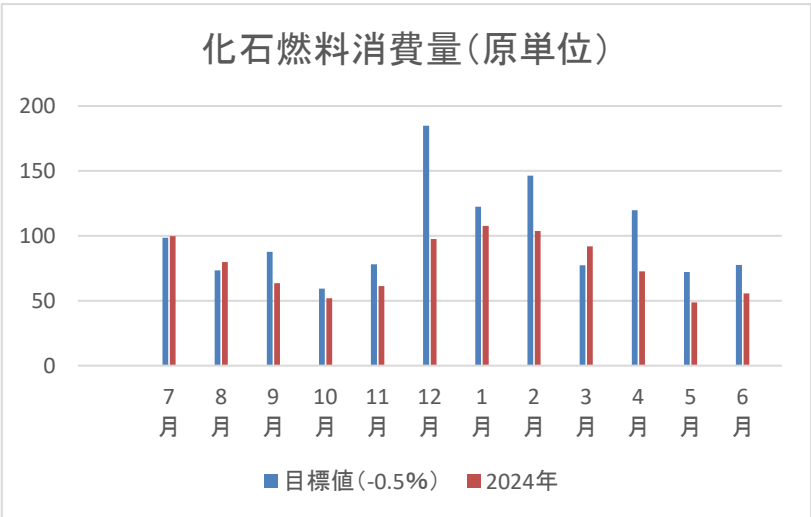
二酸化炭素	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標値（-0.5%）	399.1	335.0	361.7	291.0	322.5	673.4	599.1	572.6	321.4	424.8	295.7	286.9
2024年	364.8	301.5	213.8	208.6	243.5	391.3	428.8	481.0	323.3	291.1	207.9	214.9

5.電気消費量の節減	達成状況	取組み結果とその評価、次年度の取組み
数値目標（原単位）	○	目標に対しての達成率は80.5%で達成。2月の大雪時以外は全て達成ができた。次年度も無駄な電気使用が無いように節電意識を持ち、全社で取組む。
・昼休みは照明及び機械等の電源を可能な限り切る。	○	
・検査場等の使用頻度の少ない照明機器は電源を切っておき、使用時のみ電源を入れる。	○	
・蛍光灯、空調設備のフィルターの掃除は年2回以上行う。	○	



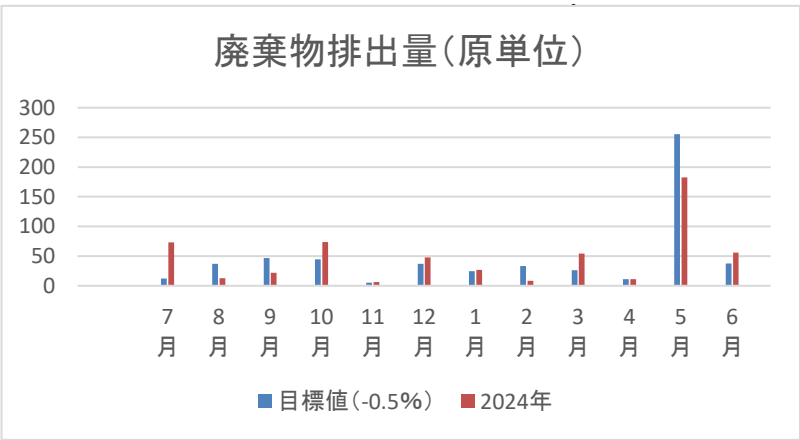
電気	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標値（-0.5%）	367.2	372.4	351.8	346.4	295.1	508.5	699.8	514.6	312.9	308.3	276.8	228.4
2024年	318.5	294.9	278.6	218.3	250.5	410.6	440.0	605.5	266.0	305.4	244.0	215.1

6.化石燃料消費量の節減	達成状況	取組み結果とその評価、次年度の取組み
数値目標（原単位）		目標に対しての達成率は76.0%で達成。次年度も活動計画を遵守し取組む。
（ガソリン・軽油）急発進、急加速の防止。又、車から離れる時は、必ずエンジン停止。	○	
・訪問先をまとめ、訪問順序を効率化して燃料の節減に努める。	○	
・（灯油）休憩所を出る時はストーブの設定温度を下げる。又、長時間空ける時はストーブを止める。	○	
・塗装乾燥ブースは車両及び部品の乾燥工程を調整して稼働効率を上げる。	○	



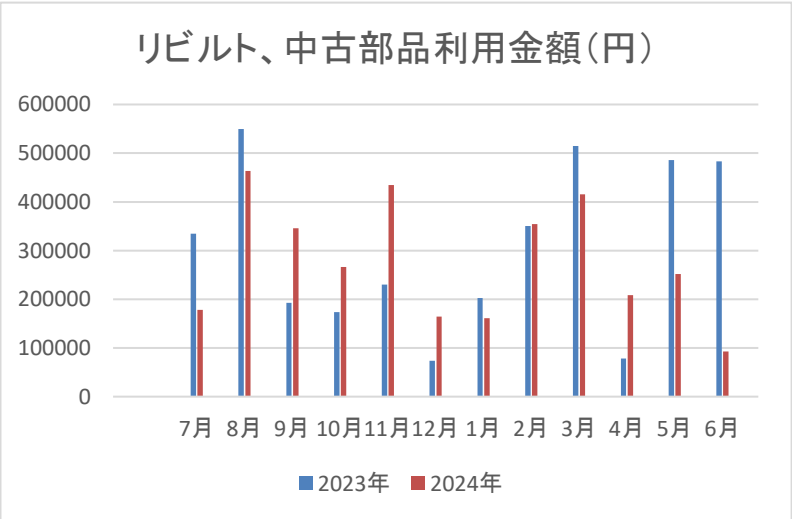
化石燃料	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標値（-0.5%）	98.5	73.4	87.6	59.3	78.0	184.9	122.4	146.4	77.2	119.6	72.2	77.5
2024年	99.7	79.7	63.5	51.9	61.3	97.4	107.7	103.7	91.8	72.5	48.6	55.5

7.廃棄物排出量の削減	達成状況	取組み結果とその評価、次年度の取組み
数値目標（原単位）	×	目標値の101.9%で未達成。廃プラスチックの産廃量が約1,800kg増えた。廃プラスチックの分別は困難だがその他の活動計画は継続して取組んでいく。
・廃棄物の分別を徹底し、可能な場合は売却する。	○	
・詰め替え可能な製品の利用や備品の修理などにより、製品の長期使用を進めている。	○	
・ミスコピー用紙の再利用、両面コピーの推進。	○	
・ペーパーレス化の推進。	○	



廃棄物量	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
目標値（-0.5%）	12.2	36.9	46.7	44.7	5.07	37	24.5	33.4	26.4	11.3	255.2	37.6
2024年	73.1	12.6	22	73.5	6.5	48	26.9	8.16	54	10.9	182.4	55.6

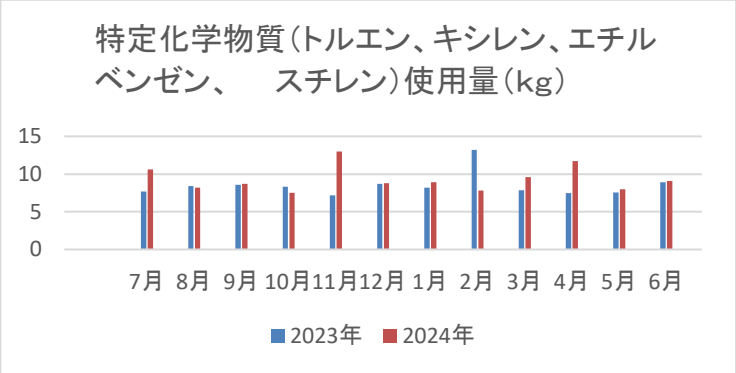
8.グリーン購入及び再生品（リビルト）の使用促進	達成状況	取組み結果とその評価、次年度の取組み
数値目標		リビルト品、中古品の購入額が減少してきているが、活動計画目標を継続して取組んでいく。
・可能な限り環境負荷の少ない商品を優先して購入する。	○	
・再生部品及び中古部品の使用をお客様に積極的に呼びかける。	○	



リビルト、中古品	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2023年	334,507	549,432	192,700	173,300	229,890	73,650	202,700	350,380	514,900	78,130	485,645	483,100
2024年	178,150	463,590	346,130	266,430	434,505	164,700	161,054	354,160	415,360	208,260	251,800	92,500

9.緑化及び工場内の整理整頓	達成状況	取組み結果とその評価、次年度の取組み
数値目標		各部門での整理整頓、掃除は3カ月に一度行う安全パトロールにより確認されている。側溝掃除も適宜行われ、緑化活動では花壇の管理や草刈りも出来ている。継続して取組む。
・毎月第3火曜日に、全部門で整理整頓、掃除及び敷地内の美化活動と分離層の油除去作業を行う。	○	
・適宜、側溝の汚泥除去、掃除を行う。	○	
・敷地内の草刈りは事務局が状況を見て外注に依頼する。	○	

10.監視・測定項目		
○水の効率的利用及び節水の評価	達成状況	取組み結果とその評価
・洗車を行う時は垂れ流しでの洗車は極力避ける。	○	2月の積雪により、消雪、氷雪用の水の使用量は増えたが、その他の活動では節水は出来ている。
・水の出しすぎに注意する。	○	
・手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を心掛ける。	○	
・消雪用、氷解用の使用時は、こまめにホースの位置を変えて効率的に使用する。	○	
・水道管からの水漏れを定期的に出来る範囲（目視、音）で確認する。	○	
○化学物質使用量の抑制及び管理	達成状況	取組み結果とその評価
・最小限での運用を心掛ける。	○	特定化学物質使用量は前年比で微増。管理面では出来ている。
・塗装ブースの定期的な点検・メンテナンスの実施	○	
・有機溶剤使用における作業管理（手順書、労働衛生保護具）	○	
・掲示と保管（貯蔵及び空き容器の処理）を管理している。	○	
・化学部室の安全性に関する情報伝達のため、ＳＤＳにより管理している。	○	
・健康管理（特殊健康診断の実施、年2回）を行っている。	○	
・有機溶剤の代替え物質の調査を実施している。	○	



化学物質使用量	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
2023年	7.67	8.43	8.59	8.34	7.16	8.71	8.20	13.19	7.85	7.49	7.54	8.94
2024年	10.60	8.20	8.70	7.50	13.00	8.80	8.90	7.80	9.60	11.70	8.00	9.10

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
騒音規制法	空気圧縮機、スチームクリーナー
振動規制法	空気圧縮機、スチームクリーナー
水質汚濁法	貯油施設
浄化槽法	浄化槽
ＰＲＴＲ法	塗料、洗浄剤
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機
自動車リサイクル法	使用済み自動車引取業者、フロン回収業者登録
グリーン購入法	文具、照明、家電、リビルト・中古品部品

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました

なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

1件、外部からの苦情あり。※問題点是正／予防処置票に記載

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定：火災の発生			
令和 6年11月22日（金） 10：00～10：30		■実施場所：ホンダカーズ糸魚川店	
■参加者	矢嶋、松田、田畑、大森、伊藤（未）、佐藤（永） 計6名		
■実施内容	ホンダカーズ店で従業員が使用する電気ストーブから出火し火災発生。		
■評価	手順書の変更の必要性	□	あり ☑ なし
	今回の訓練はある程度の人数がいて分担して対応が出来たが、人数が少ない場合も想定し、優先順位を決めて次回の訓練に活かしてもらいたい。		
■実施状況の様子	①火災の第一発見者が大声で近くにいる人に知らせる。 その後非常ベルを鳴らす。（矢嶋） ②初期消火ー消火器（2ヵ所）から出火箇所を消火する。（松田、大森） お客様の避難誘導ー本部事務所に避難誘導をし、負傷者がいないか確認をする（田畑、佐藤） 通報ー落ち着いて119番通報（伊藤） ③訓練終了 ④訓練実施検証（参加者全員）		

①

②

②

②

□代表者による全体の評価と見直し・指示 （実施日：2025年8月30日）

・目標、計画の達成状況
ハイブリット車の販売促進、販売車両の平均燃費向上、産廃物排出量の削減は未達成となりました。クルマの販売では納期遅れが影響しています。定期点検車両の入庫促進は順調に伸びています。二酸化炭素排出量、電気、化石燃料の節減は2月に大雪が降り2月、3月と消費量は増えましたが、年間では達成できました。活動計画は継続して取組んでください。
・組織を取り巻く環境
自動車業界では乗用車、大型車を問わず、電気自動車、水素、合成燃料の活用での脱炭素化を始め、様々なサービス・情報を利用者に提供することが可能になり変化しています。その変化に伴い、整備面でも高電圧システムの知識、先進運転システムの整備、ソフトウエアの診断スキルなど新しい技術（デジタル化）の取得が必要となってきます。
・組織の課題とチャンス
働き方改革の基本的な取組みは進んでいます。それを活用し、労働の生産性、効率性を上げ、社員の働き方の多様化にも取り組み、人材の確保と育成を実施していきます。又、社会貢献の一つの手段として、このエコアクション21の活動を継続し、SDGsにも取り組んで参ります。

環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり
環境経営目標・計画	☑ 変更なし	□ 変更あり
実施体制他	☑ 変更なし	□ 変更あり

エコアクション21®
認証番号 0007718

北陸自動車株式会社